

静岡県中学校総合体育大会柔道の部

第46回東海中学校総合体育大会柔道大会  
(兼 予選会)  
第55回全国中学校体育大会柔道大会

1. 期	日	令和5年	7月25日(火)	男子・女子団体戦	
			7月26日(水)	男子・女子個人戦	
			7月25日	7月26日	
	開場		9:00	開場	8:00
	計量		9:10~9:50	計量	8:10~9:10
	監督役員打ち合わせ		10:15~	監督役員打ち合わせ	9:30~
	開始式		10:45~	開始式	9:50~
	競技開始		11:00~	競技開始	10:10~

※個人戦の選手で第1日目の団体戦に出場した選手も、個人戦当日の計量を行う。  
※試合前の練習は次の時間に限定して行う。

【1日目】中部9:10~9:30 西部9:30~9:50 東部9:50~10:10

【2日目】中部8:20~8:40 西部8:40~9:00 東部9:00~9:20

2. 会場 静岡県武道館  
〒426-0067 藤枝市前島2丁目10-1 TEL 054-636-2332

3. 参加チーム・選手

(1) 団体戦 男子・女子とも24チームとする。

ア 按分数をもとに、各支部の代表数により22チームを決定する。

イ 5月の県会長杯の結果から男子2チーム女子2チームを配分し、上の表の代表数に加える。

(ア) 1位チームの支部に1チームを加える。(優勝支部 男子:静岡 女子:志太・榛原)

(イ) 2位チームの支部に1チームを加える。(準優勝支部 男子:田方 女子:田方)

東部		沼津・駿東・三島・田方・賀茂・東豆・富士・富士宮		
	男子	7		
	女子	8		
中部		静岡・志太・榛原		
	男子	7		
	女子	6		
西部		小笠	磐周	浜松・湖西
	男子	1	2	7
	女子	1	2	7

男子24チーム  
女子24チーム

(2) 個人戦 男子・女子とも各階級ごとに24名ずつとする。(8階級全て)

個人戦の出場枠は、各階級ごと男子・女子とも団体戦の支部チーム数と同じ数とする。

4. チーム編成

(1) 監督 校長・教員・部活動指導員 1名(ベンチ入り可)

引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。ただし、個人戦に限り、外部指導者(コーチ)も引率・監督できる。またクラブにおいては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率・監督すること。

(2) コーチ 校長・教員1名または学校長が認めた外部指導者(コーチ)1名の申請が可能。(ベンチ入り可)

<コーチとして認められる外部指導者(コーチ)の条件>

- ・年間を通し、日頃から学校の部活動を指導している者。
- ・中体連の大会運営に関して理解を示し、協力的な者。
- ・中学校の教職員でないこと。

ベンチ入りは(1)(2)の2名のみとする。

(3) 選手数 男子団体戦 5名(3名以上) 女子団体戦 3名(2名以上)

(4) 補員数 男子団体戦 4名以内 女子団体戦 2名以内

※ 運動部活動顧問等の部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する静岡県中学校体育連盟の対応

「静岡県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会参加申込書を作成する。なお、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。」

## 5. 競技上の規定及び方法

## (1) 試合方法

## ア 団体戦

※団体戦は1回計量、個人戦は時間内計量とする。

- ・トーナメント方式とする。
- ・チーム間の勝敗は、勝数によって決定する。勝数が同等の場合は、勝ちの内容により決定する。  
(「一本」・「反則勝」>「技あり」>「僅差」)
- ・勝ちの内容も同等の場合は引き分けとし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
- ・チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
- ・選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。  
いったん交代した選手は、再び出場できない。
- ・試合ごとに選手及び選手の位置の変更はできない。

## イ 個人戦

- ・試合は、トーナメント方式で行う。
- ・階級は男女それぞれ次の8階級とする。  
男子：50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級  
女子：40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級
- ・大会2日目に、会場で計量を行う。
- ・体重適合しない場合は失格とする。無理な減量はしないようにする。

## (2) 試合時間

3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)の時間は無制限とする。延長戦は10分を目安にウォーターブレイクを取る。

## (3) 判定

本大会は、IJF試合審判規定(2022施行の新ルール)・国内における「少年大会特別規定」で行う。

ア 試合時間は団体戦・個人戦ともに3分間とし、3回目の「指導」が与えられた時点で、「反則負け」とする。個人戦および団体戦代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。

イ 勝敗の判定基準は、「技あり」「一本」「反則負け」または「僅差(『指導』の差2以上)」とする。

ウ 個人戦および団体戦の代表戦において、スコアが同等の場合は延長戦により勝敗を決する。

エ 延長戦においては、スコアまたは「反則負け」および指導の差が上回った方を勝者とする。

オ 絞技を禁止とし、施した場合には「指導」とする。故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

## (4) ケアシステム

ア ケアシステムは、各試合場1台を補助役員が操作し、すべての試合で運用する。

イ 以下の状況における試合場での決定を補助するため、主審と審判委員が録画再生を確認することができる。

a) 延長戦を含むすべての試合時間において、試合を決定づけるような判定が下された場合。

b) 返し技が施され、どちらの試合者が最終的な技を施しているかを判断することが困難な場合。

ウ 当該試合における3名の審判員と1名の審判委員以外の者が、ケアシステムの使用を要請することは許されない。

## 6. 脳震盪の扱いについて

- ・大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け出場許可を得ること。
- ・大会中、脳震盪と受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
受傷後は、ただちに専門医の精査を受けること。(脳神経外科)
- ・練習再開に関しては脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
- ・当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により報告書を提出すること。

## 7. 参加申し込み

(1) 団体戦・個人戦ともに、巻末の「参加申込書」を県大会当日、受付にて提出する。

団体戦・個人戦の参加申込書については、令和5年7月4日(火)までにメールで送付する。

(送信先は、それぞれの支部長へ)

(2) 各支部部長は、県大会出場校からのメールを元に代表チーム・代表選手を県部長へ報告する。(メール)

(3) 外部指導者のベンチ入りを希望する場合は、所定の手続きをし大会当日に受付にて用紙を提出すること。

## 参加料について

(1) 支部大会終了後、県大会出場を決めた学校は、出場人数×1000円を支部長に提出する。

※団体戦、個人戦の両方に出場する生徒も1000円となる。出場人数×1000円である。

(2) 支部長は、県大会受付にて提出する。

(3) 各校は封筒を用意し、校名・県大会出場人数・合計金額を記載し、支部長へ提出をする。

## 8. 表彰

(1) 団体戦 男女各5位(8チーム)までを入賞とし表彰する。

- 1位：優勝旗(男子のみ、県柔道協会)  
優勝カップ(中体連)、優勝楯(静岡新聞社・静岡放送)  
賞状、メダル(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 2・3位：賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 5～8位：賞状(中体連)

(2) 個人戦 男女各5位(8名)までを入賞とし表彰する。

- 1位：優勝カップ(中体連)、賞状、メダル(中体連)  
メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 2・3位：賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 5～8位：賞状(中体連)

## 9. 東海大会・全国大会出場枠

- (1) 東海大会  
 ア 団体戦  
 男子 1～3位(3位決定戦は行わないので4チーム)が出場する。  
 女子 1・2位が出場する。  
 イ 個人戦(男女各8階級)  
 男子 各階級1～3位(3位決定戦は行わないので4人)が出場する。  
 女子 各階級1・2位が出場する。
- (2) 全国大会  
 男女団体戦、男女個人戦各階級、全て県1位のチーム及び選手が出場する。

## 東海大会・全国大会参加申し込み

- (1) 東海大会： 出場校は申込書を県大会会場で受け取り、参加料(1人2,000円)を支払う。申込書は県部長が指示した日までに下記「12. 責任者連絡先」宛てに提出する。(提出は原本・コピー各1部ずつ。学校控えのコピーを1部必ず残すこと)県部長はコピー、参加料を本県中体連事務局に、原本を大会当日開催県専門部長に提出する。
- (2) 全国大会： 出場校は申込書を県大会会場で受け取り、参加料(1人4,000円)を支払う。県部長が指示した日までに下記「12. 責任者連絡先」宛てに提出する。県部長は内容を確認した後、各提出先にまとめて送付する。交通手段については各学校で手配すること。

## 10. 全国大会出場報告

- ・県部長は県大会終了後直ちに全国大会出場チーム名、選手名を本県中体連事務局に報告する。
- ・全国大会出場校は、県大会終了時に渡される「全国中学校体育大会出場結果報告書」にて8月中に県中体連事務局に報告する。

## 11. 責任者連絡先

〒410-2211 伊豆の国市長岡1407-1  
 伊豆の国市立長岡中学校 今井 靖史  
 TEL(学) 055-948-0238 FAX(学) 055-948-5654

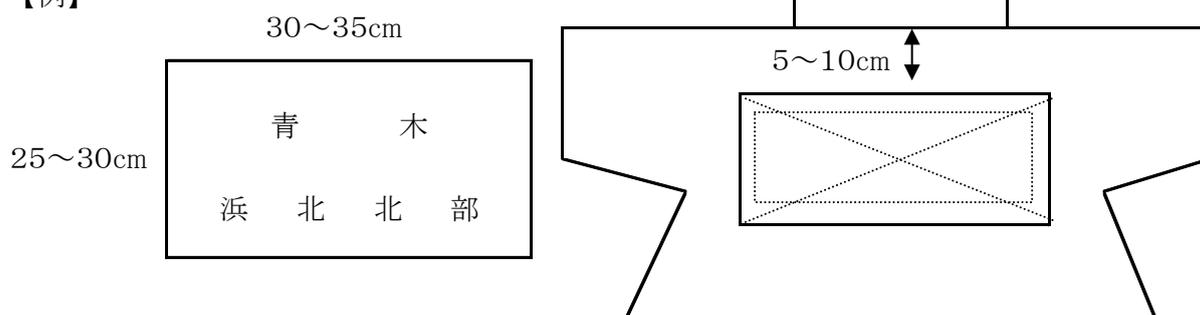
## 12. 地域スポーツ団体(クラブ)参加について

- (1) 静岡県中学校体育連盟地域スポーツ団体(クラブ)加盟規程に記載されている通りの手続きを行い、遵守する。
- (2) 静岡県中学校柔道大会や各支部中学校体育連盟柔道競技主催大会における地域スポーツ団体等の参加資格特例条件を次の通りとする。
- (ア) 指導者資格のある指導者が、年間を通じて週単位で日常的に指導、練習していること。
- (イ) 県内の中学校に在籍していること。
- (ウ) 2, 3年生は4月30日、1年生は5月20日時点で全柔連登録をしている所属で出場すること。引っ越しなどのやむを得ない場合はこの限りではない。
- (エ) 予選会は支部大会から学校、クラブの合同で実施する。
- (オ) クラブチームと中学校部活動の2重登録はできない。
- (カ) 個人戦のみ参加を認める。
- (キ) 要請があった場合、大会役員として派遣できる指導者がいること。
- (ク) 支部、地区大会はクラブチームが所在している支部に参加すること
- (ケ) 静岡県柔道協会を通して全柔連に加盟、登録をしていること。
- (3) 大会の引率、監督、帯同コーチは、全中大会において全柔連公認指導者資格A指導員またはB指導員の資格を有していなければならない。地区中体連主催大会においてはC指導員以上の資格を有していなければならない。
- (4) 大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域スポーツ団体等の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和5年度内の参加を認めない。

## 13. その他

- (1) 柔道衣・帯は全日本柔道連盟規格及び国際規定認証のもので、身体に適したサイズのものを着用する。
- ア 布地は白(晒、太綾)
- イ ゼッケンの大きさは横30～35cm、縦25～30cm。名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3。字体は太字ゴシック体または明朝体とし、男子は黒色、女子は濃い赤色。縫いつけの場所は後ろ襟から5～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫いつける。

## 【例】



- ウ 有段者は黒帯を使用する。(女子の帯についても黒のみとする。)
- (2) 女子は上衣の下に半袖の丸首シャツ(白色)を着用すること。ワンポイントは認める。
- (3) 大会運営における留意事項
- ※ 巻頭の「大会参加にあたっての注意事項」を、各学校徹底の上大会に参加すること。
- ・ 監督、コーチはワイシャツ、ノーネクタイで審判員の服装に準ずる。
  - ・ 試合場内へのアイスボックス・飲み物等の持ち込みは禁止する。
  - ・ 試合と試合の間の水分補給はフロアに水分を落とさないようにしてとること。
  - ・ 試合場内には選手・監督・コーチ以外は入らないこと。
  - ・ 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し、罰則を科せられることがないように心掛ける。
- (4) 団体戦における掲示用のオーダー表について  
オーダー表は、各チームで作成し持参する。用紙サイズは、模造紙の1/3、約縦33cm横80cmとする。
- (5) 「部活動指導員確認書(校長承認用)」ならびに「外部指導員承認書」については、県大会出場が決定した後、直ちに3部作成し、うち1部を静岡県中体連事務局へ郵送する。(他、1部は大会当日提出、1部は学校保管)
- (6) 感染症拡大防止措置等、競技部の定めた事項を遵守し、指示に従うこと。